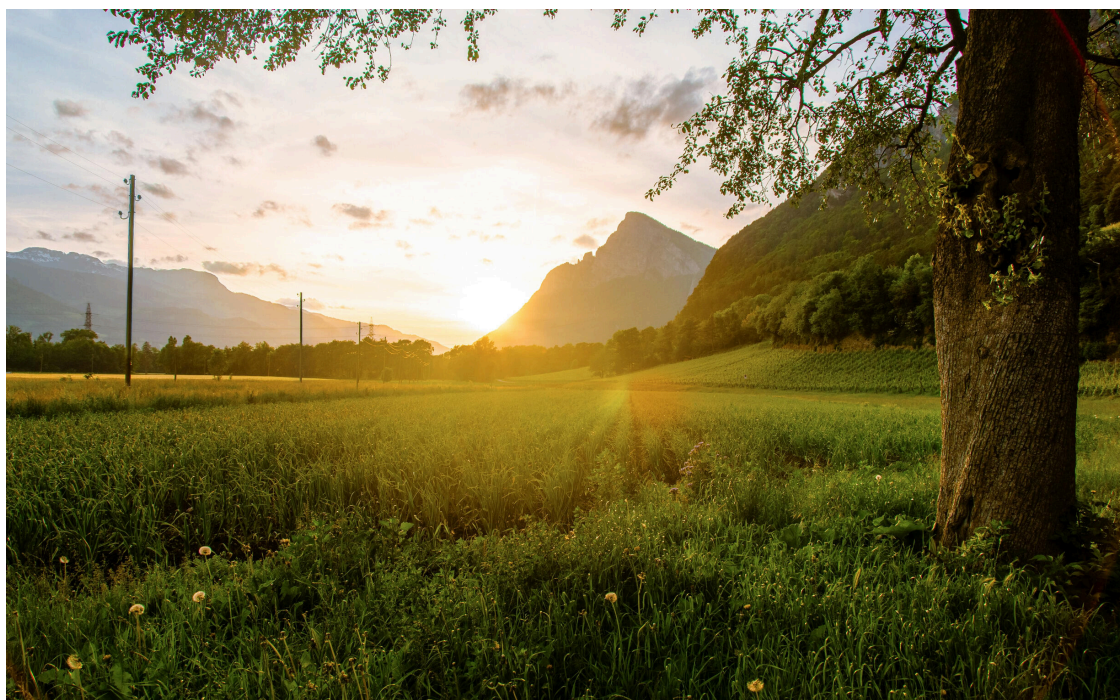


多面的機能支払 取組項目ガイドブック



令和8年4月
柏崎市

取組番号早見表

	取組番号
事務処理	200
会議など	300

【農地維持活動】

1. 地域資源の基礎的な保全活動

活動項目		取組	取組番号
点検 計画策定	点検	点検	1
	計画策定	年度活動計画の策定	2
研修		事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修	3
実践活動	農用地	遊休農地発生防止のための保全管理	4
		畦畔・法面・防風林の草刈り	5
		鳥獣害防護柵等の保守管理	6
		融雪剤の散布	100
		除排雪	101
		農用地の溝切り	102
		水路	水路の草刈り
	水路の泥上げ		8
	水路附帯施設の保守管理		9
	融雪剤の散布		103
	除排雪		104
	積雪被害防止		105
	配水操作		106
	農道	農道の草刈り	10
		農道側溝の泥上げ	11
		路面の維持	12
		融雪剤の散布	107
		除排雪	108
	ため池	ため池の草刈り	13
		ため池の泥上げ	14
		ため池附帯施設の保守管理	15
	共通	異常気象時の対応	16

2. 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

活動項目	取組	取組番号
地域資源の適切な保全管理 のための推進活動	農業者の検討会の開催	17
	農業者に対する意向調査、現地調査	18
	不在村地主との連絡体制の整備等	19
	集落外住民や地域住民との意見交換等	20
	地域住民等に対する意向調査等	21
	有識者等による研修会、検討会の開催	22
	その他	23

【資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）】

1. 施設の軽微な補修

活動項目		取組	取組番号
機能診断 計画策定	機能診断	農用地の機能診断	24
		水路の機能診断	25
		農道の機能診断	26
		ため池の機能診断	27
	計画策定	年度活動計画の策定	28
研修		機能診断・補修技術等に関する研修	29
実践活動	農用地	農用地の軽微な補修等	30
	水路	水路の軽微な補修等	31
	農道	農道の軽微な補修等	32
	ため池	ため池の軽微な補修等	33

2. 農村環境保全活動

活動項目	テーマ	取組	取組番号
	計画策定		
水質保全		水質保全計画、農地保全計画の策定	35
景観形成 生活環境保全		景観形成計画、生活環境保全計画の策定	36
水田貯留機能増進 地下水かん養		水田貯留機能増進計画、地下水かん養活動計画の策定	37
資源循環		資源循環計画の策定	38
実践活動	生態系保全	生物の生息状況の把握	39
		外来種の駆除	40
		その他（生態系保全）	41
	水質保全	水質モニタリングの実施・記録管理	42
		畑からの土砂流出対策	43
		その他（水質保全）	44
	景観形成 生活環境保全	植栽等の景観形成活動	45
		施設等の定期的な巡回点検・清掃	46
		その他（景観形成・生活環境保全）	47
	水田貯留機能増進 地下水かん養	水田の貯留機能向上活動	48
		水田の地下水かん養機能向上活動、水源かん養林の保全	49
	資源循環	地域資源の活用・資源循環活動	50
啓発・普及	啓発・普及活動	51	

3. 多面的機能の増進を図る活動

活動項目	取組	取組番号
多面的機能の増進を図る活動	遊休農地の有効活用	52
	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	53
	地域住民による直営施工	54
	防災・減災力の強化	55
	農村環境保全活動の幅広い展開	56
	やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	57
	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	58
	広域活動組織における活動支援班による活動の実施	58-2
	水管理を通じた環境負荷低減活動の強化	58-3
	都道府県、市町村が特に認める活動	59
	広報活動	60

【資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）】

活動項目	施設区分	取組	取組番号
	実践活動		
水路の更新等		62	
農道		農道の補修	63
		農道の更新等	64
ため池		ため池の補修	65
		ため池（附帯施設）の更新等	66
農地に係る施設		農地に係る施設の補修・更新等	109

目 次

①農地維持支払

(1) 地域資源の基礎的な保全活動

活動区分		施設	活動項目（対象活動）	取組（取組内容）	取組番号	必須/任意	ページ		
農地維持	調査計画	農用地	点検	遊休農地等の発生状況の把握	1	必須	1		
		水路 農道 ため池		施設の点検					
		—	年度活動計画の策定	年度活動計画の策定	2				
	研修会議	—	事務・組織運営等の研修、 機械の安全使用に関する研修	事務・組織運営等の研修、 機械の安全使用に関する研修	3				
	実践活動	農用地	農用地	遊休農地発生防止のための 保全管理	遊休農地発生防止のための保全管理		4	点検の結果に 基づき実施の 必要性を判断	2
				畦畔・農用地法面・防風林 等の草刈り	畦畔・農用地法面等の草刈り 防風林の枝払い・下草の草刈り		5		
				鳥獣害防護柵等の保守管理	鳥獣害防護柵等の適正管理 防風ネットの適正管理		6		
				融雪剤の散布	融雪剤の散布		100		
				除排雪	除排雪		101		
				農用地の溝さり	農用地の溝さり		102		
				水路	水路の草刈り	水路の草刈り	水路の草刈り ポンプ場、調整施設等の草刈り		
		水路の泥上げ	水路の泥上げ ポンプ吸水槽等の泥上げ			8			
		水路付帯施設の保守管理	かんがい期前の注油		かんがい期前の注油 ゲート類等の保守管理	9	点検の結果に 基づき実施の 必要性を判断		4
			遮光施設の適正管理		遮光施設の適正管理				
			融雪剤の散布		融雪剤の散布			103	
		除排雪	除排雪		104				
		積雪被害防止	積雪被害防止		105				
		配水操作	配水操作		106				
		農道	農道の草刈り	農道の草刈り	10	必須		点検の結果に 基づき実施の 必要性を判断	
			農道側溝の泥上げ	農道側溝の泥上げ	11				
			路面の維持	路面の維持	12				
			融雪剤の散布	融雪剤の散布	107				
			除排雪	除排雪	108				
		ため池	ため池の草刈り	ため池の草刈り	13	必須	点検の結果に 基づき実施の 必要性を判断		
			ため池の泥上げ	ため池の泥上げ	14				
			ため池付帯施設の保守管理	かんがい期前の施設の清掃・防塵	かんがい期前の施設の清掃・防塵 管理道路の管理	15			
				遮光施設の適正管理	遮光施設の適正管理 ゲート類等の保守管理				
		ゲート類等の保守管理		ゲート類等の保守管理					
共通		異常気象時の対応	異常気象後の見回り 異常気象後の応急措置	16	必須	6			

(2) 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

活動区分		施設	活動項目（対象活動）	取組（取組内容）	取組番号	必須/任意	ページ
農地維持	研修会議	—	地域資源の適切な 保全管理のための推進活動	農業者等（入り作農家、土地持ち非農 家を含む）による検討会の開催	17	活動を1つ 以上選択し 毎年度実施	6
				農業者に対する意向調査、農業者に よる現地調査	18		
				不在村地主との連絡体制の整備、 調整、それに必要な調査	19		
				地域住民等との意見交換・ ワークショップ・交流会の開催	20		
				地域住民等に対する意向調査、 地域住民等との集落内調査	21		
				有識者等による研修会、有識者を交え た検討会	22		
				その他（地域の実状に応じて対象組織 が具体的に設定）	23		

目 次

②資源向上支払（共同活動）

(1) 施設の軽微な補修

活動区分		施設	活動項目（対象活動）	取組（取組内容）	取組番号	必須/任意	ページ
資源向上 （共同活動）	調査 計画	農用地	機能診断	施設の機能診断 診断結果の記録管理	24	必須	7～8
		水路			25		
		農道			26		
		ため池			27		
		—	年度活動計画の策定	年度活動計画の策定	28		
	研修 会議	—	機能診断・補修技術等の 研修	対象組織による自主的な機能診断及び 簡単な補修に関する研修	29	5年に1回 以上実施	8
		老朽化が進む施設の長寿命化のための 補修、更新等に関する研修					
		農業用水の保全、農地の保全や地域環 境の保全に資する新たな施設の設置等 に関する研修					
		鳥獣被害防止のための施設の設置等 に関する研修					
	実践活動	農用地	畦畔・農用地法面等の 補修等	畦畔の再構築	30	機能診断の 結果に基づき 実施の必要性 を判断	9
				農用地法面の初期補修			
			施設の補修等	暗渠施設の清掃			
				農用地の除れき			
				鳥獣害防護柵の補修・設置			
				防風ネットの補修・設置			
		水路	水路の補修等	水路側壁のはらみ修正	31		
				目地詰め			
				表面劣化に対するコーティング等			
				不同沈下に対する早期対応			
				側壁の裏込材の充填、水路耕畔の補修			
水路に付着した藻等の除去							
水路法面の初期補修							
破損施設の補修							
きめ細やかな雑草対策							
パイプラインの破損施設の補修							
パイプ内の清掃							
農道	付帯施設の補修等	給水栓ボックス基礎部の補強	32				
		破損施設の補修					
		給水栓に対する凍結防止対策					
		空気弁等への腐食防止剤の塗布等					
	農道の補修等	遮光施設の補修等					
		安全施設等の適正管理					
		路肩、法面の初期補修					
		軌道等の運搬施設の維持補修					
ため池	付帯施設の補修等	破損施設の補修	33				
		きめ細やかな雑草対策					
	堤体の補修等	側溝の目地詰め					
		側溝の不同沈下への早期対応					
ため池	堤体の補修等	側溝の裏込材の充填	33				
		破損施設の補修					
		遮水シートの補修					
		コンクリート構造物の目地詰め					
		コンクリート構造物の 表面劣化への対応					
		堤体侵食の早期補修					
ため池	付帯施設の補修等	破損施設の補修	13				
		遮光施設の補修等					
		安全施設等の適正管理					

目 次

(2) 農村環境保全活動

活動区分	テーマ	活動項目（対象活動）	取組（取組内容）	取組番号	必須/任意	ページ	
資源向上 (共同活動)	計画策定	計画策定	生態系保全	生物多様性保全計画の策定	34	テーマを 1つ以上選択し 策定する	13
			水質保全	水質保全計画の策定	35		
			農地の保全に係る計画の策定				
			景観形成 生活環境保全	景観形成・生活環境保全計画の策定	36		
			水田貯留 機能増進 地下水かん養	水田貯留機能増進に係る地域計画の 策定	37		
			地下水かん養に係る地域計画の策定				
	資源循環	資源循環に係る地域計画の策定	38	14			
	実践活動	生態系保全	実践活動		生物の生息状況の把握	39	計画策定を 行ったテーマに 基づき、1つ 以上選択し 実施する
				外来種の駆除	40		
				生物多様性保全に配慮した施設の 適正管理	41		
				水田を活用した生息環境の提供			
				生物の生活史を考慮した適正管理			
				放流・植栽を通じた在来生物の育成 希少種の監視			
		水質保全	実践活動	水質モニタリングの実施・記録管理	42		
				排水路沿いの林地帯等の適正管理	43		
				沈砂地の適正管理			
				土壌流出防止のための グリーンベルト等の適正管理	44		
				水質保全を考慮した施設の適正管理			
				水田からの排水（濁水）の管理			
		循環かんがいの実施					
		非かんがい期における通水 管理作業の省力化による水資源の保全					
		景観形成 生活環境保全	実践活動	景観形成のための施設への植栽等	45		
				農用地等を活用した景観形成活動	46		
				施設等の定期的な巡回点検・清掃			
				農業用水の地域用水としての利用・管理	47		
				伝統的施設や農法の保全・実施 農用地から風塵の防止活動			
		水田貯留 機能増進 地下水かん養	実践活動	水田の貯留機能向上活動	48		
水田の地下水かん養機能向上活動				49			
水源かん養林の保全							
資源循環	実践活動	地域資源の活用・資源循環のための活動 (有機性物質の堆肥化)	50				
		地域資源の活用・資源循環のための活動 (間伐材等を利用した防護柵等の適正管理)					
		地域資源の活用・資源循環のための活動 (農業用水の反復利用)					
		地域資源の活用・資源循環のための活動 (小水力発電施設の適正管理)					
啓発 普及	—	啓発・普及	広報活動	51	計画策定を 行ったテーマに 基づき、毎年度 実施する	20	
			啓発活動				
			地域住民等との交流活動				
			学校教育等との連携				
			行政機関等との連携				
			地域内の規制等の取り決め				

目 次

(3) 多面的機能の増進を図る活動

活動区分	活動項目 (対象活動)	取組 (取組内容)	取組 番号	必須/任意	ペー ジ	
資源向上 (共同活動)	啓発・普及	遊休農地の有効活用	52	任意	20	
		農地周りの共同活動の強化	53			
		地域住民による直営施工	54			
		防災・減災力の強化	55			
		農村環境保全活動の幅広い展開	56		21	
		持続可能な畦畔管理のためのカバープランツ (地被植物) の設置				
		やすらぎ・福祉及び教育機能の連携	57			
		農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	58			
		広域活動組織における活動支援班による活動の実施	58-2			
		水管理を通じた環境負荷低減活動の強化	58-3			
	都道府県、市町村が特に認める活動	59	22			
	広報活動	60				
	実践活動	多面的機能の 増進を図る活動	高度な保全活動	循環かんがい施設の保全等		23
				水路への木炭等の設置		
				冬期湛水等のためのポンプ設置		
				末端ゲート・バルブの自動化		
				給水栓・取水口の自動化等		
				グリーンベルト等の設置		
				防風林の設置		
				水田魚道の設置		
水路魚道の設置						
生息環境向上施設の設置						
生物の移動経路の確保	24					
水環境回復のための節水かんがい導入						
カバープランツ (地被植物) の設置						
法面への小段 (犬走り) の設置						
		専門家による技術的指導の実施				

③資源向上支払 (長寿命化)

活動区分	施設	補修・更新等	活動項目 (対象活動)	取組 番号	必須/任意	ペー ジ
資源向上 (長寿命化)	実践活動	水路	補修	水路の破損部分の補修	61	計画に沿って 取組を行う。 計画と異なる 活動を行う 場合は事前に 市に相談する。
				水路の老朽化部分の補修		
				水路側壁の嵩上げ		
				U字フリューム等既設水路の再布設		
				堆積土砂の浚渫		
				集水桝、分水桝の補修		
				ゲート、ポンプ等の補修		
				安全施設の補修		
				水路法面の補修、取水施設の補修		
		堆積土砂の浚渫				
		更新	素掘り水路等から コンクリート水路等への更新	62		
			水路の更新			
			ゲート、ポンプの更新			
		農道	補修	農道路肩、農道法面の補修	63	
				舗装の打換え (一部)		
				農道側溝の補修		
			更新	未舗装農道を舗装 (砂利、コンクリート、アスファルト)	64	
				側溝蓋の設置		
土側溝をコンクリート側溝に更新						
ため池	補修	洗堀箇所の補修	65			
		漏水箇所の補修				
		堆積土砂の浚渫				
		取水施設の補修				
		洪水吐の補修				
		安全施設の補修				
更新	ゲート、バルブの更新	66				
	安全施設の設置					

農地維持支払

(1) 地域資源の基礎的な保全活動

◆ 点検・計画策定

1 点検 ☆必須項目☆

【農用地】

- 遊休農地等の発生状況の把握
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての農用地について、遊休農地等の発生状況を把握すること。

【水路（開水路、パイプライン）】

- 施設の点検
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての水路について、泥の堆積状況（ゴミの投棄状況含む）を確認すること。
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべてのパイプラインについて、ポンプ吸水槽等の泥の堆積状況（ゴミの投棄状況含む）を確認すること。
 - ・ かんがい期前に通水試験を実施し、通水状況を把握すること。

【農道】

- 施設の点検
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての農道について、路面の凹凸の状況、側溝の泥の堆積状況（ゴミの投棄状況含む）を確認すること。

【ため池（管理道路含む）】

- 施設の点検
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべてのため池について、泥の堆積状況（ゴミの投棄状況含む）、管理道路の状況（側溝のゴミの投棄状況含む）を確認すること。
 - ・ ため池の水抜きを行い、ゲート等のため池付帯施設の点検を行うこと。

2 年度活動計画の策定 ☆必須項目☆

- ・ 点検・機能診断結果も踏まえて、実践活動の当該年度の活動計画を策定すること。

◆ 研修

3 事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修 ☆5年に各1回以上実施☆
次の2つの研修について、5年間に各1回以上実施する。2つを合わせて実施することも可能とする。

- ・ 活動の円滑な実施が図られるように、活動に関する事務（書類作成、申請手続き等）や組織の運営に関する研修を行うこと。
- ・ 共同活動で使用する機械又は使用頻度が高い機械（刈払機など）について、安全使用に関する研修、講習会等を開催又はそれに参加すること。

◆ 実践活動

【農用地】

4 遊休農地発生防止のための保全管理 ☆必須項目☆

- ・ 農用地の草刈りや害虫駆除、有害鳥獣の追い払い・追い上げ活動、鳥獣被害防止のための緩衝帯の整備等を適正に行い、耕作可能な状態に農用地を保全管理すること。なお、既遊休農地については、協定期間内に遊休農地を解消すること。
- ・ 遊休農地の発生防止のための保全管理を目的とした軟弱箇所への客土（砂等）を行うこと。

5 畦畔・法面・防風林等の草刈り ☆必須項目☆

畦畔・農用地法面等の草刈り

- ・ ほ場内の作業性の確保、病虫害発生低減等のために、活動計画書に位置付けた畦畔・農用地法面やその周辺部の草刈り又は除草を行い、農業生産への障害が生じないようにすること。この際には、草刈り又は除草活動後の草を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

防風林の枝払い・下草の草刈り

- ・ ほ場隣接の防風林やその周辺部の枝払い、草刈り又は除草等の作業により、適正な管理を行うこと。この際には、枝払いや草刈り又は除草活動後の草等を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

6 鳥獣害防護柵等の保守管理 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

鳥獣害防護柵等の適正管理

- ・ 鳥獣被害防止のための防護柵等（ワナを含む）の下草刈りや簡易補修等による適正な維持管理を行うこと。なお、ワナの設置を行うことはできません。

防風ネットの適正管理

- ・ 防風ネットの下草刈りや簡易補修等による適正な管理を行うこと。

100 融雪剤の散布 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 法面等の侵食箇所早期発見のため、雪解け時期に粉炭や灰等の融雪剤の散布を行うこと。

101 除排雪 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 施設の適正な維持管理のため、施設や施設を管理するための通路の除排雪を行うこと。

102 農用地の溝きり ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 融雪による法面等の侵食防止のため、水田の溝きりを行い農地の適正管理を行うこと。

【水路（開水路・パイプライン）】

7 水路の草刈り ☆必須項目☆

□ 水路の草刈り

- ・ 通水機能の維持、病害虫発生低減等のために、活動計画書に位置付けた水路やその周辺部の草刈り又は除草を行い、通水機能等に障害が生じないようにすること。この際には、草刈り又は除草活動後の草を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

□ ポンプ場、調整施設等の草刈り

- ・ 活動計画書に位置付けたポンプ場、調整施設、営農飲雑用水施設等のパイプライン付帯施設やその周辺部の草刈り又は除草を行い、農業生産等への障害が生じないようにすること。この際には、草刈り又は除草活動後の草を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

8 水路の泥上げ ☆必須項目☆

□ 水路の泥上げ

- ・ 活動計画書に位置付けた水路の泥上げを実施し、通水機能に障害が生じないようにすること。この際には、泥上げした土砂を適正に処理し、その場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

□ ポンプ吸水槽等の泥上げ

- ・ 点検の結果、必要となる場合には、活動計画書に位置付けたポンプ吸水槽等の泥上げを実施し、施設機能に障害が生じないようにすること。この際には、泥上げした土砂を適正に処理し、その場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

9 水路付帯施設の保守管理 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- かんがい期前の注油
 - ・ 活動計画書に位置付けた制水弁等への注油により、施設機能に障害が生じないようにすること。
- ゲート類等の保守管理
 - ・ 腐食等により劣化しやすいゲート、水門、除塵機等の開水路付帯施設の長寿命化に資するため、非かんがい期の屋内保管・冬期間の防寒・防雪対策、塗料や被覆資材の再塗布、管理運転等のきめ細やかな保全管理を行うこと。
- 遮光施設の適正管理
 - ・ アオコによる通水障害やかんがい施設の損傷等を防止するために設置している遮光施設の簡易補修等の対策を行う等適正な管理を行うこと。

103 融雪剤の散布 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 法面等の侵食箇所早期発見のため、雪解け時期に粉炭や灰等の融雪剤の散布を行うこと。

104 除排雪 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 施設の適正な維持管理のため、施設や施設を管理するための通路の除排雪を行うこと。

105 積雪被害防止 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 積雪による被害を防止するために、防雪対策などの補強を行うこと。

106 配水操作 ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 地域の配水計画に基づいた配水操作を行うこと。

【農道】

10 農道の草刈り ☆必須項目☆

- ・ 活動計画書に位置付けた農道の路肩・法面やその周辺部の草刈り、除草又は枝払いを行い、通行及び農業生産に障害が生じないようにすること。この際には、草刈り又は除草活動後の草を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

11 農道側溝の泥上げ ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 活動計画書に位置付けた農道側溝の泥上げを実施し、通水機能に障害が生じないようにすること。この際には、泥上げした土砂を適正に処理し、その場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

12 **路面の維持** ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 活動計画書に位置付けた農道への砂利の補充を行う等、通行の障害となる程度の路面の凹凸をなくすようにすること。

107 **融雪剤の散布** ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 法面等の侵食箇所早期発見のため、雪解け時期に粉炭や灰等の融雪剤の散布を行うこと。

108 **除排雪** ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 施設の適正な維持管理のため、施設や施設を管理するための通路の除排雪を行うこと。

【ため池】

13 **ため池の草刈り** ☆必須項目☆

- ・ 活動計画書に位置付けたため池やその周辺部の草刈り又は除草を行い、ため池の機能等に障害が生じないようにすること。この際には、草刈り又は除草活動後の草を適正に処理し、刈り取った場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、ため池の機能及び農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

14 **ため池の泥上げ** ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- ・ 活動計画書に位置付けたため池の泥上げを実施し、ため池の貯水機能に障害が生じないようにすること。この際には、泥上げした土砂を適正に処理し、その場所に放置しないこと。又は、その場に存置する場合にあっては、農業生産・生活環境への支障が生じないようにすること。

15 **ため池付帯施設の保守管理** ☆点検の結果に基づき実施の必要性を判断☆

- かんがい期前の施設の清掃・防塵
 - ・ 活動計画書に位置付けたため池の施設について、清掃、除塵等の保守活動を行い、ため池の貯水及び配水等機能に障害が生じないようにすること。
- 管理道路の管理
 - ・ 活動計画書に位置付けたため池の管理道路を補修（草刈り、側溝の泥上げ、通行の障害となる程度の路面の凹凸の解消等）し、管理道路としての機能に障害が生じないようにすること。
- 遮光施設の適正管理
 - ・ アオコによる通水障害やかんがい施設の損傷を防止するために設置している遮光施設の簡易補修等の対策を行う等適正な管理を行うこと。
- ゲート類の保守管理
 - ・ 腐食等により劣化しやすいゲート類等のため池付帯施設の長寿命化に資するため、非かんがい期の屋内保管・冬期間の防寒対策、又は、塗料や被覆資材の再塗布等のきめ細やかな保全管理を行うこと。

【共通】

16 異常気象時の対応 ☆必須項目☆

- 異常気象後の見回り
 - ・ 洪水、台風、地震、融雪等の異常気象等が収まった後に、十分に安全を確認した上で、農用地（畦畔、排水口、法面等）、水路、地上部のパイプライン附帯施設（ポンプ場、調整施設等）、農道、ため池及び附帯施設の見回りを行い、農用地や施設の状況を把握すること。
- 異常気象後の応急措置
 - ・ 異常気象等後の見回りの結果、農用地に障害が生じるような状況である場合、又は水路、農道及びため池に土砂や雑木等が堆積し、施設機能に障害が生じるような状況である場合、必要に応じて応急措置を行うこと。

(2) 地域資源の適切な保全管理のための推進活動 ☆活動を1つ以上選択し毎年度実施☆
構造変化に対応した保全管理の目標に基づいた以下の活動を行うこと。

17 農業者等（入り作農家、土地持ち非農家を含む）による検討会の開催

18 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査

19 不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査

20 地域住民等（集落外の住民・組織等も含む）との意見交換・ワークショップ・交流会の開催

21 地域住民等に対する意向調査、地域住民等との集落内調査

22 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会

23 その他（地域の实情に応じて対象組織が具体的に設定）

資源向上支払（共同活動）

（１）施設の軽微な補修

◆ 機能診断・計画策定

【農用地】

24 農用地の機能診断 ☆必須項目☆

- 施設の機能診断
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての施設の劣化状況等を早期に発見し、「実践活動」に位置付けた予防保全活動を適期に実施できるように畦畔、農用地法面、鳥獣害防護柵、防風ネット等の状況確認を行うこと。
- 診断結果の記録管理
 - ・ 状況確認の結果を経年的に記録管理すること。

【水路（開水路、パイプライン）】

25 水路の機能診断 ☆必須項目☆

- 施設の機能診断
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての施設の劣化状況等を早期に発見し、「実践活動」に位置付けた予防保全活動を適期に実施できるように施設の状況確認（はらみの発生状況、目地部分の劣化状況、表面の劣化状況、沈下状況、側壁背面の侵食状況、藻等の発生状況、調整施設の遮光施設の状況、法面の侵食の発生状況、破損箇所の把握、安全施設の状況等）を行うこと。
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての施設の劣化状況等を早期に発見し、「実践活動」に位置付けた予防保全活動を適期に実施できるように施設の状況確認（給水栓ボックスの基礎部の状況、破損箇所の把握、調整施設の遮光施設の状況、ゲートやポンプ類等の状況等）を行うこと。
- 診断結果の記録管理
 - ・ 状況確認の結果を経年的に記録管理すること。

【農道】

26 農道の機能診断 ☆必須項目☆

- 施設の機能診断
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての施設の劣化状況等を早期に発見し、「実践活動」に位置付けた予防保全活動を適期に実施できるように施設の状況確認（側溝の目地部分の劣化状況、側溝の劣化状況、側溝背面の劣化状況、路肩・法面の侵食状況、破損箇所の把握等）を行うこと。
- 診断結果の記録管理
 - ・ 状況確認の結果を経年的に記録管理すること。

【ため池】

27 **ため池（管理道路含む）の機能診断** ☆必須項目☆

- 施設の機能診断
 - ・ 活動計画書に位置付けたすべての施設の劣化状況等を早期に発見し、「実践活動」に位置付けた予防保全活動を適期に実施できるように施設の状況確認（遮水シートの劣化状況、目地部分の劣化状況、コンクリート構造物の表面劣化状況、堤体部の侵食状況、遮光施設の状況、破損箇所の把握、安全施設の状況等）を行うこと。
- 診断結果の記録管理
 - ・ 状況確認の結果を経年的に記録管理すること。

◆ 計画策定

28 **年度活動計画の策定** ☆必須項目☆

- ・ 機能診断結果も踏まえて、実践活動の当該年度の活動計画を策定すること。

◆ 研修

29 **機能診断・補修技術等に関する研修** ☆5年に1回以上実施☆

- 対象組織による自主的な機能診断及び簡単な補修に関する研修
 - ・ 対象組織による自主的な機能診断及び簡単な補修が行えるように、技術研修の実施等の対象組織の技術向上対策を行うこと。
- 老朽化が進む施設の長寿命化のための補修、更新等に関する研修
 - ・ 対象組織による施設の長寿命化を図るための補修、更新等が行えるように、技術研修の実施等の対象組織の技術向上対策を行うこと。
- 農業用水の保全、農地の保全や地域環境の保全に資する新たな施設の設置等に関する研修
 - ・ 対象組織による農業用水の保全、農地の保全や地域環境の保全に資する新たな施設の設置等が行えるように、技術研修の実施等の対象組織の技術向上対策を行うこと。
- 鳥獣被害防止のための施設の設置等に関する研修
 - ・ 対象組織による、鳥獣被害防止のための緩衝帯や鳥獣害防護柵の設置・整備や維持管理等が行えるように、技術研修の実施等の対象組織の技術向上対策を行うこと。

◆ 実践活動

【農用地】

30 農用地の軽微な補修等 ☆機能診断の結果に基づき実施の必要性を判断☆

① 畦畔・農用地法面等

- 畦畔の再構築
 - ・ 形状の劣化、沈下、破損等がみられる畦畔（土、コンクリート問わず）の幅や高さ等の形状回復等の対策を行うこと。
- 農用地法面の初期補修
 - ・ 降雨による影響等で農用地法面に侵食が発見された場合、補修、補強等の対策を行うこと。

② 施設

- 暗渠施設の清掃
 - ・ 暗渠施設への高圧水による清掃等を実施し、機能の回復等の対策を行うこと。
- 農用地の除れき
 - ・ 生産性の確保による遊休農地発生の防止のために、石れき等の除去を行うこと。
- 鳥獣害防護柵等の補修・設置
 - ・ 鳥獣被害防止のための防護柵やワナの補修や設置等を行うこと。なお、ワナの設置については狩猟免許や捕獲許可が必要であるため、注意すること。
- 防風ネットの補修・設置
 - ・ 防風ネットの補修を行うこと。又は新たに防風ネットを設置すること。
- きめ細やかな雑草対策
 - ・ 畦畔又は農用地法面の形状確保や雑草繁茂・病虫害発生の抑制のために、「カバープランツ又はハーブの植栽・管理」、「抑草ネット等の設置」、又は、「薬剤による地上部の除草」を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意することとし、抑草ネット等については、機能診断結果に基づき、必要に応じた適正な管理を行うこと。

【水路】

31 水路の軽微な補修等 ☆機能診断の結果に基づき実施の必要性を判断☆

① 水路

- 水路側壁のはらみ修正
 - ・ 柵渠等により整備された水路の側壁部にはらみが発見された場合、はらみ修正等の対策を行うこと。
- 目地詰め
 - ・ U字溝等のコンクリート構造物の目地部に劣化が発見された場合、目地部に充填剤を詰める等の対策を行うこと。また、目地部分の草抜きも行うこと。
- 表面劣化に対するコーティング等
 - ・ コンクリート構造物等の表面が劣化していた場合、表面部へのコーティング剤の塗布等の対策を行うこと。
- 不同沈下に対する早期対応
 - ・ 水路敷きが一部不同沈下していた場合、当該部分の補修等の対策を行うこと。
- 側壁の裏込材の充填、水路耕畔の補修
 - ・ 柵渠等の水路側壁の背面に土壤侵食による空洞等が発見された場合、当該部分への裏込め材の充填、水路耕畔を補強する等の対策を行うこと。
- 水路に付着した藻等の除去
 - ・ 除塵機の破損や通水障害を解消するため、除塵機や水路内に繁茂した藻や水生植物を除去する等の対策を行うこと。
- 水路法面の初期補修
 - ・ 法面に侵食や漏水が発見された場合、補修・補強等の対策を行うこと。
- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修並びに土水路の護岸等の対策を行うこと。
- きめ細やかな雑草対策
 - ・ 水路法面の形状確保や雑草繁茂・病虫害発生の抑制のために、芝等の「カバープランツの植栽・管理」や「抑草ネット等の設置」、又は、「薬剤による地上部の除草」を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意することとし、抑草ネット等については、機能診断結果に基づき、必要に応じた適正な管理を行うこと。
- パイプラインの破損施設の補修
 - ・ パイプラインの破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- パイプ内の清掃
 - ・ パイプライン及び排泥工等の附帯施設内に堆積した土砂やゴミ等を除去するために、高圧水による除去活動等の対策を行うこと。

② 附帯施設

- 給水栓ボックス基礎部の補強
 - ・ 特に洗掘を受けやすい給水栓ボックス付近の洗掘が判明した場合、補修等の対策を行うこと。
- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修並びに土水路の護岸等の対策を行うこと。
- 給水栓に対する凍結防止対策
 - ・ 特に冬期間を中心とした低温期及び夜間の低温を原因とするパイプ等の破裂防止のために給水栓ボックスに保温材を投入するなどの保温対策を行うこと。
- 空気弁等への腐食防止剤の塗布等
 - ・ 空気弁、バルブ、制御施設等のパイプライン附帯施設の機能を継続的に発揮させるために、腐食防止剤の塗布、清掃等のきめ細やかな保全管理を行うこと。
- 遮光施設の補修等
 - ・ アオコによる通水障害やかんがい施設の損傷等を防止するために設置している遮光施設の補修や設置を行うこと。
- 安全施設等の適正管理
 - ・ 水路の転落防止柵等の安全施設等について、破損・老朽化箇所の補修等の対策を行うなど、適正な管理を行うこと。

【農道】

32 農道の軽微な補修等 ☆機能診断の結果に基づき実施の必要性を判断☆

① 農道

- 路肩、法面の初期補修
 - ・ 降雨による影響等で路肩・法面に侵食が発見された場合、補修、補強等の対策を行うこと。
- 軌道等の運搬施設の維持補修
 - ・ 軌道等の運搬施設に劣化等による障害が発生している場合、維持、補修等の対策を行うこと。
- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修、簡易な補強（舗装）等の対策を行うこと。
- きめ細やかな雑草対策
 - ・ 路肩又は法面の形状確保や雑草繁茂・病虫害発生抑制のために、芝等の「カバープランツの植栽・管理」や「抑草ネット等の設置」、又は、「薬剤による地上部の除草」を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意することとし、抑草ネット等については、機能診断結果に基づき、必要に応じた適正な管理を行うこと。

② 附帯施設

- 側溝の目地詰め
 - ・ U字溝などのコンクリート構造物の目地部に劣化が発見された場合、目地部に充填剤を詰める等の対策を行うこと。また、目地部分の草抜きも行うこと。
- 側溝の不同沈下への早期対応
 - ・ 側溝が一部不同沈下していた場合、当該部分の補修等の対策を行うこと。
- 側溝の裏込材の充填
 - ・ 側溝側壁の背面で土壌侵食による空洞等が発見された場合、当該部分に裏込め材の充填等の対策を行うこと。
- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修、簡易な補強等の対策を行うこと。

【ため池】

33 **ため池の軽微な補修等** ☆機能診断の結果に基づき実施の必要性を判断☆

① 堤体

- 遮水シートの補修
 - ・ 遮水シートに破損がみられた場合、部分的に補修する等の対策を行うこと。
- コンクリート構造物の目地詰め
 - ・ コンクリート構造物の目地部に劣化が発見された場合、目地部に充填剤を詰める等の対策を行うこと。また、目地部分の草抜きも行うこと。
- コンクリート構造物の表面劣化への対応
 - ・ コンクリート構造物等の表面に劣化が発見された場合、表面部にコーティング剤を塗布する等の対策を行うこと。
- 堤体侵食の早期補修
 - ・ 堤体の表面に侵食がみられた場合、補修等の対策を行うこと。
- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- きめ細やかな雑草対策
 - ・ ため池法面の形状確保や雑草繁茂・病害虫発生の抑制のために、芝等の「カバープランツの植栽・管理」や「抑草ネット等の設置」、又は、「薬剤による地上部の除草」を行うこと（ため池内の薬剤散布は不可）。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意することとし、抑草ネット等については、機能診断結果に基づき、必要に応じた適正な管理を行うこと。

② 附帯施設

- 破損施設の補修
 - ・ 破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 遮光施設の補修等
 - ・ アオコによる通水障害やかんがい施設の損傷等を防止するために設置している遮光施設の補修や設置を行うこと。
- 安全施設等の適正管理
 - ・ ため池の転落防止柵等の安全施設等について、破損・老朽化箇所の補修を行うなど適正な管理を行うこと。

(2) 農村環境保全活動

◆ 計画策定 ☆①～⑤のテーマから 1 つ以上選択し策定する☆

① 生態系保全

34 生物多様性保全計画の策定

- ・ 地域における生物多様性保全に向けて、基本方針、保全する生物、保全方法、活動内容等を示した計画を策定すること。

② 水質保全

35 水質保全計画の策定、農地保全計画の策定

- 水質保全計画の策定
 - ・ 地域における水質保全に向けて、基本方針、保全方法、活動内容等を示した計画を策定すること。
- 農地の保全に係る計画の策定
 - ・ 地域における農地からの濁水や土砂流出の防止に向けて、基本方針、活動内容等を示した計画を策定すること。

③ 景観形成・生活環境保全

36 景観形成・生活環境保全計画の策定

- ・ 地域における景観形成・生活環境保全に向けて、基本方針、目標達成方法、活動内容等を示した計画を策定すること。

④ 水田貯留機能増進・地下水かん養

37 水田貯留機能増進計画、地下水かん養活動計画の策定

- 水田貯留機能増進に係る地域計画の策定
 - ・ 地域における水田等を利用した水田貯留機能増進に向けて、基本方針、活動内容等を示した計画を策定すること。
- 地下水かん養に係る地域計画の策定
 - ・ 地域における水田等を利用した地下水かん養に向けて、基本方針、活動内容等を示した計画を策定すること。

⑤ 資源循環

38 資源循環計画の策定

- ・ 地域における資源循環のために、基本方針、循環する資源、循環方法、活動内容等を示した計画を策定すること。

◆ 実践活動 ☆計画策定を行ったテーマに基づき、①～⑤の中から1つ以上選択し実施する☆

① 生態系保全

39 生物の生息状況の把握

- ・ 地域における生物多様性保全を推進するために、保全する生物を中心とした生物等の調査を行うこと。地域に生息・生育する生物、又は保全する生物の分布図を、地域情報が把握できる地形図を活用して作成すること。
- ・ 地域において保全する生物の動向を把握するために、モニタリング調査を行うとともに、その記録管理を行うこと。

40 外来種の駆除

- ・ 地域における生物多様性保全のため、外来の魚類等の生物を駆除する活動を行うこと。

41 その他（生態系保全）

- 生物多様性保全に配慮した施設の適正管理
 - ・ 地域において保全する生物（主に魚類）の生息環境を創出するワンドの設置、石積み・多孔コンクリートによる護岸等を行った水路や多自然型に復元した水路等について、ゴミの除去等により適正な維持管理を行うこと。又は、新たに魚巢ブロック等を設置し、適正な維持管理を行うこと。
 - ・ 地域における魚類の生息環境を改善する魚道や段差解消等を行った水路等について、ゴミの除去等により適正な維持管理を行うこと。又は、新たに魚道等を設置し、適正な維持管理を行うこと。
 - ・ 地域における魚類等の生息環境を改善するために、水路への堰板の設置等を通じて、流速、水深の管理を行うこと。又は、保全池等の水位管理を行うこと。

- 動物等の生息環境改善のために、植栽等によって確保した連続性のある緑地帯や動物等が道路や水路を横断しやすくするような施設について、適正な維持管理を行うこと。又は、新たに道路や水路を横断しやすくするような施設を設置し、適正な維持管理を行うこと。
- 水田を活用した生息環境の提供
 - 遊休農地等をビオトープとして位置付けるとともに、畦畔の維持や水管理等による適正な維持管理を行うこと。
 - 鳥類の餌場、ねぐらの確保又は両生類や昆虫類の産卵等のために、作物の収穫後の水田を湛水状態にする活動を行うこと。
 - 渡り鳥への保護活動として、遊休農地等を利用して鳥の餌となる植物の栽培等を行うこと。
 - 魚類、両生類等の生息場、待避場を確保するため、ほ場内に小水路等を設置し、適正な維持管理を行うこと。
- 生物の生活史を考慮した適正管理
 - 地域において保全する生物の生息環境を維持保全するために、当該生物の生活史に配慮した草刈りを行うこと。なお、その際は水路等内の刈草等とともに捕獲された生物を水路等に戻すこと。
 - 地域において保全する生物の生息環境を維持保全するために、当該生物の生活史に配慮した水路の泥上げを行うこと。なお、その際は土砂とともにすくい上げられた生物を水路等に戻すこと。
 - 地域において保全する生物の生息環境を維持保全するために、農用地から林地等までを移動範囲とする生物のネットワークを考慮して、農用地・林地等の適正な維持管理を行うこと。
- 放流・植栽を通じた在来生物の育成
 - 生物多様性保全の観点から、地域内に以前から生息していたが、近年減少していると感じられる生物について、放流・植栽したり、生息環境を継続的に確保するための適正な維持管理を行うこと。
 - 水路法面や畦畔等に植栽する場合、通常地域内に生息しない植物を植栽するのではなく、通常地域内に生息する在来植物を植栽するとともに、定期的な草刈り等による適正な維持管理を行うこと。
 - 基礎活動としてため池の水抜きを行った後、外来種以外の魚類等の生息が確認された場合に、元のため池に戻すか、連続性のある同一水系のため池や河川等に移植すること。
 - デコイ（鳥の模型）や遮光壁の設置・管理や鳴き声を発生させる等の、鳥類の呼び寄せに寄与する活動を行うこと。
 - 鳥類の生息環境の改善のために、巣箱を設置・管理すること。
- 希少種の監視
 - 地域における生物多様性保全のために、水路、ため池等に希少種が生息・生育する場合、乱獲等を防ぐための定期的な監視を行うこと。

② 水質保全

42 水質モニタリングの実施・記録管理

- 水質の動向を把握するために、水質モニタリング調査を行うとともに、その記録管理を行うこと。

43 畑からの土砂流出対策

- 排水路沿いの林地帯等の適正管理
 - 水質保全に向けて、畑からの濁水等の流出抑制を図るために排水路沿いに設置した林地帯等について、下草刈り等による適正な維持管理を行うこと。又は、新たに林地帯等の設置を行い、適正な維持管理を行うこと。
- 沈砂池の適正管理
 - 水質保全に向けて、土砂堆積機能の効果的発揮や浮遊物の流出防止を図るため、沈砂池や土砂溜柵の泥上げやその施設への植栽を行い、適正な管理を行うこと。又は、新たに沈砂池の設置を行い、適正な維持管理を行うこと。
- 土壌流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理
 - 水質保全に向けて、農用地からの土壌流出を抑制するために設置したグリーンベルト（緑地帯）等（畦畔、木柵等含む）について、適正な維持管理を行うこと。又は、新たにグリーンベルト（緑地帯）等（畦畔、木柵等含む）を設置し、適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。
 - 水質保全に向けて、作物収穫後に通常裸地期間となる場合、土壌流出を抑制するために営農目的以外で流出防止対策（マルチ、敷きわら、植物の植栽等）を行い、適正な維持管理を行うこと。

44 その他（水質保全）

- 水質保全を考慮した施設の適正管理
 - 水質保全のために、排水路やため池内に植栽したヨシ等の植物について、適正な時期に刈り取りを行い、排水路やため池外に搬出し処分する等の適正な維持管理を行うこと。又は、新たにヨシ等を植栽し、適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。
 - 水質保全のために、排水路やため池内に設置した木炭等の接触材を利用した浄化施設等の水質改善施設について、接触材を定期的に更新する等の適正な維持管理を行うこと。又は、新たに水質改善施設を設置し、適正な維持管理を行うこと。
 - 水質保全のために、排水路に設置した浄化池について、泥上げ、清掃等の適正な維持管理を行うこと。又は、新たに浄化池を設置して適正な維持管理を行うこと。
- 水田からの排水（濁水）管理
 - 水田からの濁水流出防止を図るために、濁水がほ場内に滞留して浮遊（懸濁）物質の沈殿が図られるように、排水止水板を設置し、その適正な維持管理を行うこと。

- 循環かんがいの実施
 - ・ 地域内外の水質を保全するため、地域内での循環かんがいを実施すること。
- 非かんがい期における通水
 - ・ 水質改善や悪臭発生防止のために、非かんがい期においてもゲート等の適正な管理等によって水路に通水すること。
- 管理作業の省力化による水資源の保全
 - ・ 管理作業を省力化し、水資源の逼迫や下流閉鎖水域の水質悪化を改善するため、末端ゲート・バルブ又は給水栓・取水口の自動化等を行うこと。

③ 景観形成・生活環境保全

45 植栽等の景観形成活動

- 景観形成のための施設への植栽等
 - ・ 農用地（畦畔、防風林含む）、水路、ため池、農道（路肩含む）を活用して景観を良くするために、花壇、植生土のうの設置や景観植物の植栽を行うとともに、ゴミの除去等による適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等に当たっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。
 - ・ 景観形成のために、水路等に水生植物（花き等）を植栽するとともに、補植等による適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等に当たっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。
 - ・ 景観形成のために、農道の歩道部分を木材チップで覆う等の活動を行うこと。

□ 農用地等を活用した景観形成活動

【農用地等を活用した景観形成活動】

- ・ 農用地等の資源が活用されて形成される良好な景観を維持、改善するため、農用地周辺の屋敷林等の適正管理、廃屋（使用されなくなった農具小屋等）の撤去又は周辺景観に配慮した利活用、複数の施設の壁の同系色化等の活動を実施し、景観形成を図ること。

【農用地等を活用した景観に配慮した作付け】

- ・ 農用地への作物の作付け及び輪作を行う際に、農用地への景観作物の作付けや景観に配慮した輪作を行うこと。
- ・ 農村の景観を良好にするために、遊休農地等に景観植物等の植栽を行うこと。なお、植栽等に当たっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。

46 施設等の定期的な巡回点検・清掃

- ・ 地域内の景観保全及び生活環境保全のために、ゴミの不法投棄防止のための巡回点検を行うこと。
- ・ 地域内の景観保全及び生活環境保全のために、農用地、開水路、パイプライン附帯施設、ため池、農道等の施設周辺のゴミを定期的に除去すること。
- ・ 地域の重要な通行の場となっている農道の除雪を行うこと。

- ・ 畦畔法面の管理作業を省力化し、管理の粗放化による病虫害の増加、景観の悪化等を防止するため、法面への小段（犬走り）の設置を行うこと。

47 その他（景観形成・生活環境保全）

- 農業用水の地域用水としての利用・管理
 - ・ 農業用水を生活用水として利用するとともに、適正な利用が可能となるように利用区間の水路底やその周辺部の清掃及び適正な維持管理を行うこと。
 - ・ 農業用水を防火用水として利用するとともに、適正な利用が可能となるように防火水槽の定期的な清掃、防火訓練への協力、水位確保のための堰板管理等を行うこと。
 - ・ 農業用水を消流雪用に利用するとともに、その適正な利用が可能となるように降雪期前の点検、補修、及びその他期間にも適正な維持管理を行うこと。
 - ・ 集落内にある水路を親水空間として利活用し、定期的な清掃等により、適正な維持管理を行うこと。
 - ・ 農村の水辺空間の景観形成を図るため、非かんがい期においても、ため池に貯水すること。
- 伝統的施設や農法の保全・実施
 - ・ はさ掛け等の伝統農法の実践を通じて農村特有の景観形成を図ること。
 - ・ 地域に賦存する歴史的な価値のある農業施設の保全を行うこと。
 - ・ 景観形成のために、機械作業が不可能な棚田等の石垣法面の草刈りや補修等を適正に行うこと。
- 農用地からの風塵の防止活動
 - ・ 農用地周辺に立地する住宅等に対して、農用地からの風塵による影響を小さくするため、主として営農目的以外で農用地への植物の植栽を行い、適正な維持管理を行う等の取組を行うこと。又は、風塵防止のための並木を整備し、枝打ち等により適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。

④ 水田貯留機能増進・地下水かん養

48 水田の貯留機能向上活動

- ・ 大雨時の水田からの排水を調節するため、水田の落水口に排水調整板の設置等を行うこと。
- ・ 大雨時の水田での貯留効果を向上させるため、畦畔の嵩上げ等を行うこと。ただし前述の排水調節の活動を行う場合に限る。
- ・ 大雨時に、水田への湛水による一時貯留やため池の空容量を活用し、貯留機能を向上させるため、ゲート等の操作や排水ポンプの稼働を行うこと。

49 水田の地下水かん養機能向上活動、水源かん養林の保全

- 水田の地下水かん養機能向上活動
 - 水田の持つ地下水かん養機能を発揮させるため、かんがい・防除等の営農以外の目的で水田への水張りを行うこと。又は、新たにポンプを設置し、計画に基づいた水田への湛水を行うこと。
 - 水田の持つ地下水かん養機能を効果的に発揮させるため、収穫後に耕起を行うこと。
- 水源かん養林の保全
 - 地下水かん養の便益を受ける地域が上流域の地域と連携を取りながら、水源かん養林を対象にした保全活動を行うこと。

⑤ 資源循環

50 地域資源の活用・資源循環のための活動

【有機性物質のたい肥化】

- 資源の循環を推進するために、家庭からの生ゴミ等を収集し、たい肥化を図ること。
- 資源の循環を推進するために、農業集落排水施設から発生する汚泥を収集し、たい肥化を図ること。

【間伐材等を利用した防護柵等の適正管理】

- 地域及び周辺で産出される間伐材を利用して設置した防護柵について、破損があった場合などには早急な対応を行うなど、適正な維持管理を行うこと。又は、新たに間伐材を利用した防護柵を設置し、維持管理すること。

【農業用水の反復利用】

- 地域において農業用水を有効活用するために、農業用水を反復して循環的な利用を行うこと。又は、新たに排水の再利用が可能となるポンプを設置し、計画に基づいた通水を行うこと。

【小水力発電施設の適正管理】

- 地域内にある水路に設置した小水力発電施設について、継続的に発電が可能となるような適正な維持管理を行うこと。又は、新たに発電施設を設置し、維持管理すること。又は、小水力発電の導入に向けた実験活動を行うこと。

◆ 啓発・普及

51 啓発・普及活動 ☆計画策定を行ったテーマに基づき毎年実施する☆

- ① 広報活動（パンフレット等の作成・頒布、看板設置等）、啓発活動（有識者の指導、勉強会等）
 - 広報活動
 - 農村環境保全活動に対する地域住民等の理解を深めるために、パンフレット、機関誌等の作成・頒布、看板の設置、インターネットのホームページの開設・更新等の活動を行うこと。
 - 外来種の侵入防止や駆除に対する理解を醸成する取組を行うこと。

□ 啓発活動

- ・ 地域の農村環境保全のために、農村環境の各テーマに詳しい専門家の意見を伺う等、有識者の指導・助言を得ること。
- ・ 地域で保全する生物の種類を検討するためや、地域の水質保全計画・景観形成計画等を策定するため等に、集落等での寄合等の場を活用した勉強会等を行うこと。

② 地域住民との交流活動、学校教育、行政機関等との連携

□ 地域住民等との交流活動

- ・ 活動を契機として、農村環境保全活動に対する地域住民等の関心を高めるために、地域住民等との交流活動を行うこと。
- ・ 地域における生物多様性保全、景観形成等への認識を高めるために、地域内の水路等でみられる生物を対象とした観察会や地域の農村環境を再点検するためのウォーキング等を行うこと。
- ・ 生物多様性保全への意識向上のために設置した植物等の観察路や鳥の観察台について、定期的なゴミ除去等による適正な維持管理を行うこと。又は、新たに観察路等を設置し、管理を行うこと。
- ・ 農村環境保全活動に取り組む団体との意見交換会の実施等により、連携を図ること。
- ・ 地域における水田を利用した水田貯留機能増進・地下水かん養を推進していくために下流域と上流域との間での情報交換会の実施等により、連携を図ること。

□ 学校教育等との連携

- ・ 農村環境保全活動の啓発等のために、テーマに応じた出前講座や体験の場の提供等により、小中学校、高等学校、幼稚園等と連携を図ること。

□ 行政機関等との連携

- ・ 市町村が田園環境整備マスタープランを策定（変更）する際に、地域における生息生物、水質等の各テーマに関する情報を提供したり、内容について意見を述べること。また、地域での取組等をマスタープランに位置付ける等の連携強化を図ること。
- ・ 市町村等が作成する広報誌について、地域における生息生物・景観等についての情報を提供したり、地域の取組実績等を投稿すること。

③ 地域内の規制等の取り決め

- ・ 農村環境保全活動を推進していくために、規制（ルール、約束事等）について、地域の合意の下で取り決めること。

(3) 多面的機能の増進を図る活動

52 遊休農地の有効活用 ☆任意項目☆

- ・ 地域内外からの営農者の確保、地域住民による活用、企業と連携した特産物の作付等、遊休農地の有効活用のための活動を行うこと。

53 農地周りの共同活動の強化 ☆任意項目☆

- 鳥獣被害防止のための対策施設の設置、有害鳥獣の追い払い・追い上げ活動や鳥獣緩衝帯の整備・保全管理、農地周りの藪等の伐採、農地への侵入竹等の防止等、農地利用や地域環境の改善のための活動を行うこと。なお、ワナの設置については狩猟免許や捕獲許可が必要であるため、注意すること。

54 地域住民による直営施工 ☆任意項目☆

- 農業者・地域住民が直接参加した施設の補修や環境保全施設の設置、そのための技術習得等、地域住民が参加した直営施工による活動を行うこと。

55 防災・減災力の強化 ☆任意項目☆

- 水田やため池の雨水貯留機能の活用、危険ため池の管理体制の整備・強化等、災害時における応急体制の整備等、地域が一体となった防災・減災力の強化のための活動を行うこと。

56 農村環境保全活動の幅広い展開 ☆任意項目☆

- 農村環境保全活動の幅広い展開
 - 農地等の環境資源としての役割を活かした、景観の形成、生態系の保全・再生等、農村環境の良好な保全に向けた幅広い活動を行うこと（地域資源の質的向上を図る共同活動において取り込まれる農村環境保全活動に加えて、1テーマを選択し農村環境保全活動を実施する対象組織及び4に定める活動を実施する対象組織が対象）。
- 持続的な畦畔管理のためのカバープランツ（地被植物）の設置
 - 管理の粗放化による病虫害の増加、法面浸食、景観の悪化等を防止するために、カバープランツを設置し、適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等に当たっては、必要に応じて専門業者の活用や有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。

57 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用 ☆任意項目☆

- 地域の医療・福祉施設等と連携した、農村環境保全活動への参画や農業体験等を通じた交流活動等、地域と医療・福祉施設等との連携を強化する活動を行うこと。
- 地域内外の法人、専門家、教育機関等と連携した農村環境保全活動への参画や農業体験等を通じた交流活動等、地域資源の有するやすらぎや教育の場としての機能増進を図る活動を行うこと。

58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化 ☆任意項目☆

- 農村特有の景観や文化を形成してきた伝統的な農業技術、農業に由来する行事の継承等、文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に資する活動を行うこと。

58-2 広域活動組織における活動支援班による活動の実施

- ・ 広域活動組織において、集落をまたいで共同活動を支援することを目的として設置された活動支援班が活動を行うこと。

58-3 水管理を通じた環境負荷低減活動の強化

- ・ 環境負荷低減の取組への支援（要綱別紙2第6の2(1)のウのd）に定める活動を行うこと。
ただし、5割軽減の取組と組み合わせての実施及び長期中干しにおける溝切りの実施の要件は適用しないものとする。

59 都道府県、市町村が特に認める活動 ☆任意項目☆

- 地域資源を活用した活動による関係人口の創出・拡大
- ・ 関係人口の創出・拡大を図るため、農地や農村環境の保全活動、農業体験等、多面的機能支払交付金の活動を通じた地域外の住民や組織との交流活動を行うこと。

60 広報活動・農的関係人口の拡大 ☆任意項目☆

- ・ 多面的機能支払交付金の活動に対する多様な主体の参画を促進するために、パンフレット、機関誌等の作成・頒布、看板の設置、インターネットのホームページの開設・更新等の活動を行うこと。
※ 農村環境保全活動の啓発・普及活動の広報活動とは別の内容にすること。

(4) 多面的機能の増進を図る活動における「農村環境保全活動の幅広い展開」の対象組織

(3)における「農村環境保全活動の幅広い展開」の対象組織は、地域資源の質的向上を図る共同活動において取り組まれる農村環境保全活動に加えて、当該農村環境保全活動とは異なる1テーマ以上の農村環境保全活動を選択及び実施する対象組織、又は以下の高度な保全活動を実施する対象組織とする。

◆ 高度な保全活動

① 農業用水の保全

【循環かんがいによる水質保全】

- 循環かんがい施設の保全等
- ・ 循環かんがいにより地域の河川、湖沼等の水質改善を図るために、ポンプの分解点検清掃及び循環池のゴミ・土砂の除去を行うこと。また、定期的に水質調査を行い、周辺水域への負荷の軽減効果を確認すること。

【浄化水路による水質保全】

- 水路への木炭等の設置
- ・ 農業用排水の水質改善を図るために、水路又はため池に水質浄化施設（木炭・れき・織布等の接触材、ヨシやガマ等の水質浄化植物等）を設置し、浄化施設の適正な維持管理（施設の清掃、植物の刈り取り）を行うこと。また、定期的に水質調査を行い、水質を確認す

ること。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。

【地下水かん養】

- 冬期湛水等のためのポンプ設置
 - ・ 農業用水源としての地域の地下水をかん養するために、ポンプを設置し、かんがい・防除等の営農目的以外で、計画に基づいた水田への湛水を行うこと。

【持続的な水管理】

- 末端ゲート・バルブの自動化等
 - ・ 管理の粗放化による溢水や水資源の逼迫等の地域の水管理に関する問題を改善するため、末端ゲート・バルブの自動化等を行うこと。
- 給水栓・取水口の自動化等
 - ・ 管理の粗放化による水資源の逼迫や閉鎖水域の水質悪化等の地域の水環境に関する問題を改善するため、給水栓・取水口の自動化等を行うこと。

② 農地の保全

【土壌流出防止】

- グリーンベルト等の設置
 - ・ 農地等からの土壌流出を防止するために、農地周辺の水路沿い等にグリーンベルト（緑地帯）等（畦畔、木柵等含む）を設置し、適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等にあたっては、必要に応じて有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。
- 防風林の設置
 - ・ 活動計画書に位置付けた農地において、農地等からの砂塵飛散を防止するために、農地に隣接する防風林を設置し、枝払いや草刈り、除草等の適正な維持管理を行うこと。

③ 地域環境の保全

【生物多様性の回復】

- 水田魚道の設置
 - ・ 地域における保全対象となる生物（魚類）やそれを捕食する猛禽類等の生息環境の確保のために、対象となる魚類の遡上が可能となるよう水田と排水路の間等に適切な小規模魚道を設置し、適正な維持管理を行うこと。また、保全対象となる魚類等の生息状況について適切にモニタリング調査を行うこと。
- 水路魚道の設置
 - ・ 地域における対象となる生物（魚類）やそれを捕食する猛禽類等の生息環境の確保のために、対象となる魚類の遡上が可能となるよう水路に適切な魚道を設置し、適正な維持管理を行うこと。また、保全対象となる魚類等の生息状況について適切にモニタリング調査を行うこと。
- 生息環境向上施設の設置
 - ・ 地域における対象となる生物（魚類等）やそれを捕食する猛禽類等の生息環境の確保のために、水路、遊休農地等にワンド、ビオトープ、石積み・多孔コンクリート護岸等を設置し、適正な維持管理を行うこと。また、保全対象となる生物の生息状況について適切にモニタリング

調査を行うこと。

□ 生物の移動経路の確保

- 地域における保全対象となる生物の移動経路の確保のために、対象となる野生生物を特定した上で、道路や水路を横断しやすくするような施設（水路蓋、農道下の暗渠等）を設置し、適正な維持管理を行うこと。また、保全対象となる生物の移動経路が確保されていることについて適切にモニタリング調査を行うこと。

【水環境の回復】

□ 水環境回復のための節水かんがいの導入

- 排水の再利用等により、かんがい用水の取水量を節減し、地域の水環境の回復を図るために、排水の再利用が可能となるようポンプ等を設置し、計画に基づいた通水を行うこと。

【持続的な畦畔管理】

□ カバープランツ（地被植物）の設置

- 管理の粗放化による病虫害の増加、法面浸食、景観の悪化等を防止するために、カバープランツを設置し、適正な維持管理を行うこと。なお、植栽等に当たっては、必要に応じて専門業者の活用や有識者の指導・助言を得るなど、地域の生態系への影響に留意すること。

□ 法面への小段（犬走り）の設置

- 管理の粗放化による病虫害の増加や、景観の悪化等を防止するために、法面へ小段を設置すること。

④ 専門家の指導

□ 専門家による技術的指導の実施

- 対象活動に関する専門的な知見又は技能を有している者の指導や助言を受け対象活動に取り組むこと。また、指導内容及びその反映状況を記録すること。

資源向上支払（長寿命化）

☆計画に沿い取組を行う。計画と異なる活動を行う場合は事前に市へ相談する。☆

（1）実践活動

◆ 水路（開水路、パイプライン）に関する対象活動

61 水路の補修

① 水路本体

- 水路の破損部分の補修
 - ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊など、水路の一部区間が破損している場合、破損状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。
- 水路の老朽化部分の補修
 - 目地の劣化やコンクリート表面の磨耗、ひび割れ、はく離など、水路の一部区間が老朽化している場合、老朽化の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。
- 水路側壁の嵩上げ
 - 水路敷きの不同沈下により溢水するといった通水機能に支障が生じている場合、水路側壁を嵩上げすることによる対策を行うこと。
- U字フリューム等既設水路の再布設
 - 水路敷きの不同沈下により溢水や漏水、あるいは、土砂の堆積など、通水機能に支障が生じている場合、U字フリューム等既設水路の再布設による対策を行うこと。
- 堆積土砂の浚渫
 - 水路において、土砂等の堆積により通水機能に支障が生じており、清掃や泥上げ等の日常管理だけでは解消が困難な場合、機械等を用いて浚渫を行うこと。

② 附帯施設

- 集水枡、分水枡の補修
 - 集水枡、分水枡の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- ゲート、ポンプ等の補修
 - ゲート、ポンプ及び付属の機器の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 安全施設の補修
 - 水路内への侵入や転落を防止するフェンスやガードレールなど安全施設の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 水路法面、取水施設の補修
 - 水路法面の土砂崩落箇所や不同沈下等により沈下した箇所の補修等の対策を行うこと。
 - 小規模な水利施設（揚水機場、頭首工、堰等）の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 堆積土砂の浚渫
 - 附帯施設において、土砂等の堆積により通水機能に支障が生じており、清掃や泥上げ等

の日常管理だけでは解消が困難な場合、機械等を用いて浚渫を行うこと。

62 水路の更新等

① 水路本体

- 素堀り水路や柵渠水路等からコンクリート水路等への更新
 - ・ 土水路法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の水路に更新するなどの対策を行うこと。（部分的な更新を含む）
 - ・ 柵渠水路等の水路敷きの不同沈下等により溢水や漏水、あるいは、土砂の堆積や水路渠底の侵食など、通水機能に支障が生じている場合、柵渠水路等からコンクリート製の水路の部分的な更新による対策を行うこと。（※柵渠水路等の等にはコンクリート製を含む、コンクリート製の等には塩ビ管・ポリ管等を含む）
- 水路の更新
 - ・ 水路の一部区間又は路線の大半において老朽化や不同沈下等による通水機能への支障が路線全体を通じて生じている場合、水路の当該区間の更新による対策を行うこと。

② 附帯施設

- ゲート、ポンプの更新
 - ・ 老朽化等により機能に支障が生じているゲート、ポンプの更新等の対策を行うこと。
- 安全施設の設置
 - ・ 水路内への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置等することによる対策を行うこと。
- 水路蓋の設置
 - ・ 土砂、落葉、雪等の水路内への流入により、水路を閉塞し越流し水路法面の破損、水路本体に影響を与える箇所や維持管理の安全上、蓋設置することにより対策を行うこと。

63 農道の補修

- 農道路肩、農道法面の補修
 - ・ 農道路肩、農道法面に侵食や土砂の崩壊などが生じている場合、当該箇所の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。
- 舗装の打換え（一部）
 - ・ 老朽化等により農道の舗装路面の凹凸、わだち、ひび割れ等がみられた場合、その一部を撤去、不陸整正するなどした後、新たに舗装するなどの対策を行うこと。
- 農道側溝の補修
 - ・ ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊といった破損や目地の劣化、コンクリート表面の磨耗、ひび割れ、はく離等といった老朽化が生じている場合、当該箇所の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

64 農道の更新等

① 農道本体

- 未舗装農道を舗装（砂利、コンクリート、アスファルト）
 - ・ 未舗装農道において、農道の維持管理等に支障が生じている場合、新たに路面を舗装することによる対策を行うこと。

② 附帯施設

- 側溝蓋の設置
 - ・ 農道において、側溝に蓋がないために車輛通行時に脱輪したり、農業機械の移動や作業等に伴って側溝を傷付けるなどの恐れがある場合、当該箇所新たな蓋を設置することにより対策を行うこと。
- 土側溝をコンクリート側溝に更新
 - ・ 土側溝において、側溝法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の側溝に更新するなどの対策を行うこと。

65 ため池の補修

① ため池本体

- 洗堀箇所の補修
 - ・ ため池において、堤体が洗掘されている場合、土のうやゴムシート等を設置し補修する等の対策を行うこと。
- 漏水箇所の補修
 - ・ ため池において、老朽化等による堤体からの漏水等がみられた場合、遮水シート等を設置する等の対策を行うこと。
- 堆積土砂の浚渫
 - ・ 土砂等の堆積により、貯水機能又は取水機能に支障が生じている場合、堆積土砂等の浚渫を行うこと。この場合に浚渫した土砂等を適切に処理すること。

② 附帯施設

- 取水施設の補修
 - ・ ため池の樋、底樋、斜樋などの取水施設の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 洪水吐の補修
 - ・ ため池の洪水吐の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
- 安全施設の補修
 - ・ 転落防止や危険区域内への立入り防止等のために設置されている安全施設の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

66 ため池（附帯施設）の更新等

- ゲート、バルブの更新
 - ・ 老朽化等により機能に支障が生じているため池のゲート、バルブの更新等の対策を行うこと。
- 安全施設の設置
 - ・ ため池への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。